

令和5年4月25日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

ChatGPT 等の AI 対話サービスの利用について 学長メッセージを発信

ご存じのとおり、ChatGPT 等の AI (Artificial Intelligence (人工知能)) 対話サービスの急速な進化に、大きな注目が集まっています。大学において同サービスは、適正な使い方を習得して有効に利用することで、学生の学びを効果的かつ効率的に深める可能性がある一方、知識の獲得や思考力・判断力・文章表現力向上といった学びを阻害したり、剽窃や他者の著作権侵害、個人情報漏洩や守秘義務違反に繋がるなど、様々なリスクが生じる可能性があるため、利用には細心の注意が必要です。

このようなことから、この度中村学長が、本学の学生に対し、「AI 対話サービスを、効果的・倫理的・適切に利用し、本学での学びを深めてほしい」とのメッセージを発信しました。学長メッセージの内容は別紙のとおりです。

〈問い合わせ先〉

山梨大学総務企画部総務課広報企画室

TEL : 055-220-8005, 8006 FAX : 055-220-8799

E-mail: koho@yamanashi.ac.jp

ChatGPT 等の AI 対話サービスの利用について

本学の考え = 適切な利用で学びを深める：

時代が進むにつれ、新しい技術が登場し、学びの環境は絶えず変化します。常に最新の正確な情報に基づいて柔軟に思考・判断し、しなやかに行動変容することが重要です。AI 対話サービスなどの新しい技術を拒絶することなく、効果的・倫理的・適切に利用して、皆さんの山梨大学での学びを深めていただくことを願っています。

AI 対話サービスとは：

最近、ChatGPT 等の AI (Artificial Intelligence (人工知能)) 対話サービスが急速に進化し、大きな注目を集めています。AI とは、人の知能を必要とする処理を行うことができるコンピュータシステムで、データに基づいて出力を変更する機能、すなわち与えられた情報から学ぶ能力を持っています。特に、AI 対話サービスは様々な分野で人間が回答しているかのような自然な対話ができ、適正な使い方を習得して有効に利用することで皆さんの大学での学びを効果的かつ効率的に深める可能性があります。

しかしその一方で、知識の獲得や思考力・判断力・文章表現力向上を目指す大学での学びを阻害したり、剽窃や他者の著作権侵害、個人情報漏洩や守秘義務違反に繋がったり、様々なリスクを生じる可能性があるため、これらのサービスの利用には細心の注意が必要です。

どんな特徴があるのか：

AI 対話サービスの代表例はアメリカの企業 Open AI 社が 2022 年 11 月末に発表した ChatGPT ですが、これを基にした Microsoft Bing Chat や Google Bard などの新しいサービスが次々と登場しています。これらは全て、大規模自然言語処理 (コンピュータが人間の言語を分析・処理する技術) ソフトウェアを基盤としてユーザからの入力に応じて自然な文章で回答を生成します。

ChatGPT は膨大な知識、文脈の理解、柔軟な言葉遣い、そして多言語対応によって自然な対話ができ、様々な言語処理タスクに対応できます。例えば、高校生にも分かるような説明を求めたり、特定のトピックについて例を挙げて説明を求めたりできます。さらに、文章の要約や、アウトラインから本文を作成するタスク、プログラムの作成やデータ形式 (データの形態や表現方法) の変換、さまざまな言語での会話練習にも利用できます。

これらの例を見ると、これまで用いられてきた検索エンジンとは大きく異なり、「調べる」ためのシステムではなく「対話する」システムであることがわかるでしょう。

何が問題なのか：

AI 対話サービスは様々なタスクに利用できますが、ユーザからの問いに対して常に正しい回答を返すわけではなく、あくまでも、もっともらしい文章を返すだけ、であることに注意が必要です。

AI 対話サービスから出力された回答の正当性を判断するためには、対話内容に関する知識と批判的思考力が欠かせません。回答を盲信せず、信頼できる情報源で確認し、適切に引用しながら自分の言葉で説明することが大切です。

AI 対話サービスに過度に依存すると、大学での学びの目的である知識の獲得や思考力・判断力・文章表現力の向上などが損なわれる可能性があります。つまり、皆さんには、AI 対話サービスに依存せず、その出力を無思考・無批判で受け入れない姿勢が求められます。

また、これらの AI 対話サービスはインターネット上のデータを「学習」して出力を生成するため、出力には学習データの影響が強く反映されます。そのため、AI 対話サービスの出力を自分の作成物として扱うことは、剽窃や著作権侵害のリスクがあります。インターネット上の記事をコピー&ペースト（切り貼り）をすることと同じ、と考えると理解しやすいでしょう。

さらに、AI 対話サービスに入力したテキストは記録・分析され、場合によっては AI の学習に利用されて他者との対話で出力される可能性もあります。個人情報や研究や業務に関連した機密情報を入力してはいけません。

◎利用にあたっての5つの注意点：

以上のことから、AI 対話サービスの利用にあたっては、現時点では以下の5つの点に注意してください。

- ・ 補助的な利用：問題解決を AI に丸投げせず、学習のアシスタントとして使いましょう
- ・ 慎重な利用：様々なリスクがあることを意識して、注意深く使いましょう
- ・ 批判的思考：AI の出力を常に批判的に検討し、必ず正当性を確認しましょう
- ・ 機密情報の保護：個人情報や機密情報を入力しないようにしましょう
- ・ 著作権の尊重：他者の著作権侵害のリスクを考慮して使いましょう

適切な利用で学びを深める【再掲】：

時代が進むにつれ、新しい技術が登場し、学びの環境は絶えず変化します。常に最新の正確な情報に基づいて柔軟に思考・判断し、しなやかに行動変容することが重要です。AI 対話サービスなどの新しい技術を拒絶することなく、効果的・倫理的・適切に利用して、皆さんの山梨大学での学びを深めていただくことを願っています。

補足：

本文の作成にあたっては、ChatGPT（GPT-4）に原案を提示し、段落ごとのラベル付け、使用例の簡略化、全体的な表現の見直しを行いました。これは、AI 対話サービスを適切に利用する一つの事例となるように、上記の注意点を守りながら行われました。

ChatGPT等のAI対話サービスを適切に 利用するための5つの注意点

補助的な利用：

問題解決をAIに丸投げせず、あくまでも学習のアシスタントとして使いましょう

慎重な利用：

様々なリスクがあることを意識して、注意深く使いましょう

批判的思考：

AIの出力を常に批判的に検討し、必ず正当性を確認しましょう

機密情報の保護：

個人情報や機密情報を入力しないようにしましょう

著作権の尊重：

他者の著作権侵害のリスクを考慮して使いましょう

